

さんくす

発行:笠懸町第三区広報委員会

発行所:笠懸町第三区公民館

https://sannkusu-kasakake.com

sannkusu.kasakake@gmail.com

18メートルの花道を設置、納涼祭

7月28日(日)、激しい夕立の中で、三区納涼祭が行われました。雨でグラウンドがぬかるむことを考慮して、公民館前の舗装から舞台までの18メートルを繋ぐ花道を新たに設けました。

午後5時から、子ども八木節の威勢が良い音頭で納涼祭がスタートしました。須藤市長やぐんまちゃんが会場に駆けつけ、会場を和ませた後は、三区の女性コーラスが歌声を披露しました。

午後6時20分頃、東方の雲に稲光が見えたかと思うとまもなく大粒の雨が会場を襲い、来客は

一斉にテントの中に避難する状況となりました。区長をはじめとするスタッフは出演者とともに雨雲レーダーを見ながら運営を検討し、日本舞踊は残念ながら中止となりました。

中止の声も呟かれた7時過ぎ、小雨となり雲の切れ間も見えた頃、サンバチームがのりの良いリズムを響かせました。リーダーは花道から舞台へとチームを誘導。会場の子どもや大人の手を取って舞台ヘリードしました。舞台で



祭りに華を添えるコーラス

は浴衣姿の子どもたちも一緒にサンバを踊りました。まつりのトリは八木節愛好会がつとめ、一部未消化のプログラムもありましたが、大混乱の雨の中で、無事に納涼祭を終えることが出来ました。(関連記事2面)



浴衣姿でサンバと共演

青パト講習と総会を開催

三区安全安心推進委員会の主催で6月23日(日)、三区公民館ホールで、青パトの講習が行われ、53人が参加しました。

桐生警察署生活安全課の警部補の栗原さんは青色防犯パトロールの注意点を講話しました。

またパトロール実施者証の申請も行いました。桐生警察笠懸交番から2人の来賓参加もあり緊張の中にも有意義な講習となりました。終了後に30年度総会と感謝祭がおこなわれました。

令和という新しい時代になりました。地域の防犯や交通安全の形はどうあるべきか、また、青パトを支える人達の高齢化問題も真剣に考えなくてはならない重要な課題です。写真:受講する従事者



散歩道 (9) 笠懸南中学校

東小学校を新設した数年後の昭和50年代前半に、児童生徒急増市町村に指定され、今度は中学校を新設することになりました。

笠懸南中学校の新設にあたり紛糾したのは、学区をどのようにするかということでした。

昭和54年11月に初の説明会が催されましたが、その際に「両毛線の北と南で分ける」「笠東小・笠北小で1校とする」などさまざまな案が示されたそうです。その頃は行政区単位でいろいろな催し物も開催されるなど、地域との結び付きが今よりも強かったように感じます。やはり学区により行政区が割れることには大きな反対があり、議論を重ねた結果、両毛線を挟んだ北・南で別れることが決まりましたが、9区は区を割らないことに決まりましたが、7区は両毛線を境に南中と笠懸中とに分かれてしまいました。

さまざまな変遷を経て、昭和57年2月に校舎と体育館が完成し、同年6月に夏のシーズン到来に間に合わせるようにプールが完成しました。

建設当初は畑に囲まれていた笠懸南中学校ですが、周辺に民家や文化ホール、公民館などが建設されるなど、周辺の環境も様変わりしてきました。



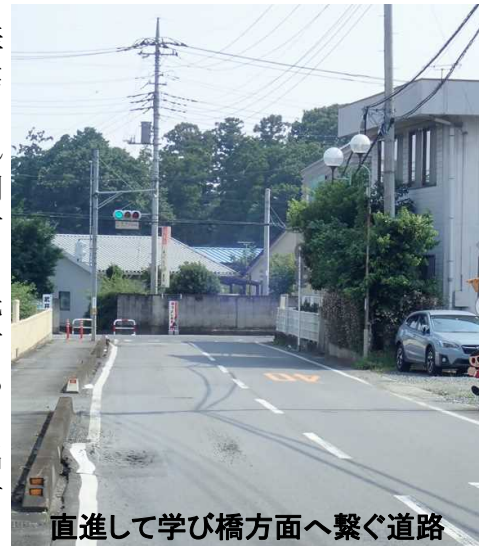
学び橋への道路新設・拡幅

笠懸東小学校入り口交差点の構造変更に伴い、下山商店から同交差点への道路整備事業についての説明会が、7月11日(木)に都市建設部建設課により、笠懸公民館で行われました。

同交差点は、桐生伊勢崎線の拡幅に伴い、交差点の構造変更に迫られていました。この道路は国道50号線から伊勢崎県道への抜け道としても利用され、阿左美幼稚園や東小学校への通園通学路で、改善が求められていました。

計画によると、国道50号線を道なりに南下し、右側写真のように(有)丸光工機の所で突き当たりとなっているものを、そのまま直進して緩やかに右カーブののち、南光寺を避けて左カーブして、東小入り口交差点に至るもの。道路幅員は9.5メートルで、片側には歩道が整備される予定です。

阿左美幼稚園の東側の道路は、県道付近で通行不可とし、県道への出入りは出来なくなります。工期は、本年度中に境界面定と詳細設計をすすめる、保証算定業務を経て、令和3年に着工の予定です。



直進して学び橋方面へ繋ぐ道路



こども祭り 笠懸町第三区納涼祭が午後2時からこどもまつり(育成会)を皮切りに始まりました。ポップコーン、ラムネなどの模擬店が設けられ、スーパーボールすくい、ヨーヨー、バスケットビンゴ、ストラックアウトの遊具では大勢の子どもたちでにぎわいました。事前の準備や当日の運営では、育成会、親老会の皆さんが子ども祭りを支えていました。



納涼祭を縁の下で支えるスタッフ。炎天下で行われる焼きそば(上)と餃子(左)の調理。どんなに暑くても「美味しいものを提供する」のがスタッフのプライド。



やよいひめ 誕生物語 (6)

イチゴの師匠からのアドバイス-2

やよいひめは冬の間はオレンジ色が強いいため、出荷販売を開始した当初、果色が薄いと市場からクレームが付いた。これは逆に、春先、4月以降の暖かい季節になっても赤黒くならない果色を選抜したためである。

この果色を選んだ理由は、鹿沼市でイチゴの品種開発も手がけていた農家の師匠からのアドバイスでもあった。最近白いイチゴが発表されているが、実は、糖度と色とは無関係なのである。普及開始から12年経過した現在、果色のことは

誰も何も言わなくなった。むしろ近年発表される他県の新品種はやよいひめに近い果実色を選抜しているように感じる。

今になって振り返ると、やよいひめが県内イチゴの8割を占めるようになり、他県でも栽培されている大きな要因は、師匠から「4月以降の暖候期になっても果実が黒ずまない色のイチゴを選抜した方がいいよ」というアドバイスがあったからこそという気がしてならない。(つづく)



区民ハイキング参加者募集

今年は、房総方面へ海鮮浜焼きと海鮮丼食べ放題、鋸山名勝ハイキング、地獄のぞき、日本寺、三井アウ



トレット木更津でショッピングと盛りだくさんの内容です。奮ってお申し込みください。

【日時】9月5日(日)午前6時 出発(帰着予定は午後6時50分頃)

【集合場所】笠懸町第3区公民館

【参加費】大人5,000円、こども3,000円、未就学児1,000円

【募集人数】先着70名

【申込方法】次の体協役員まで。岡田勉 Tel 77-0057(森田石油 Tel 76-3444) 藤生大介 Tel 76-2805 赤石知己 Tel 76-3458 塚本吉昭 Tel 77-1560 植竹春彦 Tel 76-4036 森田徹 Tel 76-2762 中村正義 Tel 51-3029 今泉健司 Tel 76-9499 須藤秀和 Tel 090-5828-8825

笠懸町子ども会球技大会 善戦！ 三区 総合3位 笠懸地区 準優勝

6月9日(日)に笠懸中学校体育館で、子ども会夏季球技大会が開催されました。

朝から雨天の影響により野球の部は中止となりましたが、三区からはドッジボールの部に、2年生から6年生までの合計13人が出場しました。

今年度は笠懸地区の参加チームが減少となってしまうため、桐生地区の4チームが加わり合計8チームが参加した大会となりました。当日は出場した8チームの総当たり予選リーグ戦から始まりました。

高学年は1チーム10人の競技ですが、三区の人数は8人でしたので不利な状況からの試合でしたが、予選リーグでは3位通過で決勝トーナメントに進出しました。試合で勝った時は監督さんと育成会役員さんもメンバーと一緒に喜んでいました。

低学年は試合のみで順位はありませんでした。富田副会長は「4月から監督も代わり、新チームとして最初の大会でしたが子ども達も頑張って素晴らしい大会でした。秋季大会に向けて、育成会役員も手伝っていきたい」と抱負を語っていました。また、ドッジボールメンバーは随時募集しています。



チームワークで3位をもぎ取る

子ども八木節に32人参加

5月17日(金)に、三区子ども八木節教室の開講式が行われ、小学2年生から6年生までの32人が参加し、三区納涼祭や笠懸まつり披露に向けて練習がスタートしました。

三区八木節愛好会の方々が講師として、お囃子や踊りを教えています。今年度は2年生の参加人数が多いようですが、初めての参加や担当楽器が変わった子ども達でも、数回の練習で覚えることができているようです。

関係者からは「おまつり披露の当日に、子ども達の揃った演奏を楽しみにしてほしい」と話していました。写真:熱心に練習する子どもたち



区民GG男子優勝は吉原さん女子は石坂さん

三区と福祉部の共催による区民グラウンドゴルフ大会が、6月8日(土)午前9時から2時間、あすかホールグラウンドゴルフ場で行われました。

男性21人女性13人の参加でした。当日は梅雨の晴れ間で暑くもなく絶好のグラウンドコンディションでした。

結果は男性の優勝は吉原猛さん(左)、準優勝は海発功さん(右)、3位

は別府正紀さん 女性は優勝、石坂ヨシ子さん、準優勝は関根迪江さん、3位は丸本壽美子さん、でした。みなさんの元気に励まされて、記者も楽しいひと時を過ごしました。



都会から田植実習 風景

6月8日(土)、梅雨入り後の合間をぬうような晴れの日、東京から大人9人子ども3人が田植え体験に来ました。

彼らの目的は都会では決して味わえない手植えによる田植えを体験し、労働による疲労感と満足感を味わうこと、またSNSなどで体験した様子や稲の生育過程を共有し、楽しみながら稲作に携わる事です。

5アールほどの田植は2時間ほどで終了した後は、かたくりの湯で疲れを癒し、バーベキューを楽しみました。

参加者は「また秋に日程の都合がつけば稲刈り体験に来たい。これからの夢として、遊休地を借りて仲間たちと協働で収穫まで含めた自給米作りをすること。またもっと都会の子供たちに農業体験をさせたい」と語りました。



田植えは初体験



田植えが行われた水田(右下)と新設の駐車場

東小学校、総合学習で田植え

6月12日(火)曇り午後2時から約2時間、東小学校近くの水田(4アール)で、5年生83人と、先生や保護者、地域協力者など約40人によるモチ米苗の田植えが行なわれました。

これは、5年生の5・6時間目を使う総合学習の一環です。地域、学校、保護者の協力のもとで昭和53年に第1回が行われて以来、今年で第42回となるそうです。

代掻きが行われた泥んこの中で、地域の方々や先生、保護者、生徒たちが楽しそうに協力して田植えを行いました。その様子は阿左美沼土地改良区の協力でドローンによる空撮が行われました。また、地域の協力者による恒例となる田植え機の機械植えの実技も披露されました。

東小北側に駐車場新設

東小の北側で、今回田植えが行われた隣接に、東小学校専用の駐車場が新設され、この4月から共用が開始されました。

これまで小学校に送迎に来る保護者の車は学校敷地内まで侵入していました。敷地内の駐車場は狭く、車返しも困難で、交通事故等が懸念されたほか、校門横の歩道橋に車が乗り上げて子どもの帰りを待つなど、子どもの安全や道路の使用状況に問題を抱えていたことから、平成28年にPTAから請願書が市に提出され、駐車場の新設に至りました。規模は1029㎡で35台が駐車可能となっています。

近隣では阿左美駅の移転に伴う工事が行われているほか、通学路の阿左美アンダーの改修や、歩道橋の新設など、数年で東小を取り巻く環境が大きく変わりそうです。

資源ゴミ回収で育成会活動資金

三区育成会活動の一環として、資源ゴミ回収を今年度も3回予定しています。第1回目は6月23日(日)に行われ、12,165円の収入がありました。収入金は三区育成会活動の財源として、子ども達のために有効活用させていただきます。

第2回目は次の日程で行われる予定です。

日時:11月17日(日)9:00~11:00

回収場所:三区公民館

内容品:新聞紙、雑誌、ダンボール、アルミ缶、スチール缶、ビール瓶、一升瓶。(瓶は茶色のみ)

ちょっとピンぼけ

若いと思っていたのに、古希を迎えました。古希とは中国唐代の詩人杜甫の曲江詩の詩句にある[人生七十古来稀なり]に由来します。今年満70歳を迎えるのは昭和24年生まれです。まさに戦後のベビーブーム期でその成長過程でいろいろな社会現象を生み時代をリードした団塊の世代とも言われてきました。

古希は長寿のお祝いですが、平均寿命が高まっている現在にまだまだお年寄り扱いされることを好みません。しかし、成人用肺炎球菌予防接種の案内がきたり、

国民健康保険高齢者受給証がきたりで、現実に歳を意識します。仕事は生涯現役と貫くと聞こえは良いですが、加齢による病院通いも大きな仕事になっています。

人生100年時代を迎え、古希の祝いを人生のセカンドステージと捉え、また長寿のスタートラインについてと考え、次の目標は平均寿命をはるかに超えて米寿まで元気に過ごし、ゴールはそれよりはるか先だと思いたいこの頃です。

古希を 歳だねと言いつつ まだ青春。